

# かわさき教育プラン策定委員会会議録

日 時	平成15年5月21日 (水)	18時00分 開会 20時30分 閉会	
場 所	川崎市立高津高等学校第1会議室		
出席者	大森 彌 委員 小松 郁夫 委員 新井 郁男 委員 佐藤 一子 委員 田中 雅文 委員 田辺 誠 委員 齋藤 勝 委員 柴田 頼子 委員 秋山 薫 委員 中島 豪一 委員 今井 淑子 委員 増田 和子 委員 左澤 充克 委員 三好 秀人 委員 寺尾 央 委員 江幡 淳 委員 吉田 正和 委員 北條 秀衛 委員 河野 和子 委員 中村 立子 委員 佐々木 賢司 委員 峪 正人 委員 田中 則之 委員 瀧峠 雅介 委員 松井 孝憲 委員 西野 博之 委員 片山 世紀雄 委員 斉藤 陽子 委員 沢木 光雄 委員 本間 俊 委員	村上 寛 委員 中島 愼一 委員 奥村 廣重 委員 大下 勝巳 委員 福島 一男 委員 豊島 このみ 委員 川西 和子 委員 斉藤 正彦 委員 白井 達夫 委員 寺内 藤雄 委員	欠席 児島 邦宏 委員 八木 晋郎 委員 高橋 寛人 委員 西山 克枝 委員 天笠 茂 委員 教育長 (河野) 総務部長 (横尾) 施設部長 (斉藤) 教職員部長 (隈元) 学校教育部長 (郡司) 生涯学習部長 (中山) 企画課長 (市川) 企画課主査 (松井) 傍聴 1名 取材 2名

- 1 開 会 司会が開会を宣する。
- 傍聴 1 名、記者 2 名
- 司会がこの委員会は川崎市会議公開条例に基づくものであり、傍聴者と取材が入っていることを説明。後日、議事録等もホームページ等で公開されることも併せて確認した。
- 司会から本日の資料の確認
- 2 委嘱状交付 教育長から各委員に委嘱状を交付
- 3 委員自己紹介 出席各委員が順番に自己紹介
- 4 教育委員会  
あいさつ 教育長から以下のような内容のあいさつがあった。
- 昭和 61 年の「いきいきとした川崎の教育をめざして」に基づいて教育行政を行ってきた。その時々々の社会・経済情勢や国の方針等を勘案しながら毎年教育行政を見直してきた。
- ただ、近年の社会情勢の変化は急激であり、制度疲労も見られ、国においても、中教審にいくつもの諮問をしているなど、動きが激しい。
- また、昨年度に学校教育の制度も大きく変わり、本市においても行財政改革プランが策定されるなど大きく状況が変化してきているところから、国の動向も見据えながら、改めて川崎の教育行政を見直していきたいということで、プランを作っていくたい。
- 130 万市民の教育に対する思いをひしひしと感じる毎日である。将来を見据えた計画、実施をしていきたい。
- 司会から事務局各部長を紹介
- 5 かわさき教育  
プラン策定委員  
会設置及び運営  
要綱について 総務部企画課企画担当主査が別添の資料 1 について説明した。
- 委員から以下のような発言があった。
- 要綱の中に委託という表現が出てくるが、どういう意味か。
- 総務部企画課企画担当主査から以下のような発言があった。
- 予算上、委託料として市の予算についている。策定委員会が委託を受ける形になる。策定の方法については後ほど、説明がある。
- 委員から以下のような発言があった。
- 契約内容の中で策定に口出しするということではないのか。

総務部企画課長から以下のような発言があった。  
そういう意味ではない。

6 委員長・副委員長  
の選任について

互選により、以下のように決定した。

委員長 新井委員  
副委員長 小松委員(教育行政専門部会部会長)  
児島委員(学校教育専門部会部会長)  
佐藤委員(社会教育専門部会部会長)

7 委員長及び副委員長  
就任あいさつ

委員長・副委員長からそれぞれあいさつがあった。

8 教育委員会からの  
諮問について

資料2にある諮問文を教育長が読み上げ、諮問文を委員長に手渡した。

議案1

### 川崎市の教育の現況と課題について

総務部企画課企画課長が別添の資料3について説明した。

委員から以下のような発言があった。

資料7について、これが教育委員会全体の事業概要だと思うが、子ども中心なのは、ある程度仕方ないにしても、大人が自ら学ぶという事業が見えてこない。毎年、このような全体のパンフレットにおいては、大人の学習についてはふれられていないのか。

総務部企画課企画課長から以下のような発言があった。

パンフレットの作成目的が教育委員会の平成15年度の主要事業についてお伝えすることなので、日常的な大人の生涯学習活動についてはあえて表現せずに、このような整理になっている。

委員から以下のような発言があった。

よくわかるのだが、目標の5本柱に大人が学ぶということが見えてこないなので、質問した。

委員から以下のような発言があった。

2010プランには学校教育の展望はほとんどなかった。川崎市の新総合計画はどのくらいのスパンを想定しているのか。また、いま説明のあった諸課題についても、かな

り長期的に考えていかなければならない問題と、緊急を要する課題が混在しているように思えるが、その点についてはどうなのか。つまり、我々策定委員はどのくらいのスパンを見据えていけばよいのかということを知りたい。

総合企画局企画調整課長から以下のような発言があった。

川崎市の新総合計画については方向性について内部協議している段階である。ただ、時代環境がこれだけのスピードで変化していることを考えると、高度成長期にあったような長期的な計画は成り立たないのではないか、という議論がされている状況である。

総務部企画課企画課長から以下のような発言があった。

かわさき教育プランについては、平成15、16年度で策定し、計画期間としては平成17年度から10年間を想定している。長期的な課題と短期的な課題が混在していることについては、あえて整理をせずに例示をさせていただいたということなので、これから各専門部会等で、優先順位等についてもご検討いただきたい。

委員から以下のような発言があった。

策定体制について、各ワーキングに教育委員会の職員だけでなく、市長部局の職員も加わるべきだ。最初の素案を考えると重要なので、教育委員会の職員だけで固めずにもうちょっと工夫して欲しい。

総務部企画課企画課長から以下のような発言があった。

総合企画局等とも話をして、ご指摘の方向で進めていきたい。

委員から以下のような発言があった。

策定体制について、たてに素案が上がっていくシステムになっているが、専門部会同士で連絡をとりあえるような、よこのつながりを考えに入れて欲しい。また、専門部会の検討事項のなかで、教育行政専門部会の「教育委員会のあり方」と社会教育専門部会の「生涯学習推進体制のあり方」の関連についてはどう考えているのか、お聞きしたい。

総務部企画課企画課長から以下のような発言があった。

よこのつながりについては、必要に応じて考えていきたい。生涯学習推進体制について、現在、川崎市においては副市長をトップとした生涯学習推進体制を敷いており、各区レベルでもそれぞれ組織がある。これは、生涯学習推進計画を作成したときに要綱で定めたものであるが、実際的には機能していない。

このような仕組みの再編について、論点として想定していたので、教育委員会制度とのつながりについては、必要であれば、今後策定委員会で充分ご検討いただきたい。

## **策定委員会、専門部会の活動スケジュールについて**

総務部企画課企画課長が別添の資料4について説明した。

説明のなかで、総務部企画課企画課長から以下のような発言があった。  
スケジュールがあえば、部会長でよこの調整をしたりする場を設けることなども考えられる。

委員から以下のような発言があった。  
部会長だけで調整をすることや専門部会を同日開催するなど、少なくとも各専門部会の検討事項が伝わるように事務局で検討するようにしてください。

### 議案 3

#### かわさき教育プラン策定委員会平成15年度予算について

総務部企画課企画課長が別添の資料5について説明した。

委員から以下のような発言があった。  
予算がオーバーしたときはどうするのか。専門部会の回数が少ないと思う。これでは、上がってきたものに、ちょっと意見を付けるくらいしかできない。

総務部企画課企画課長から以下のような発言があった。  
基本的には予算内で執行していくが、必要があれば、追加の手立ても考えなくてはならない。

委員から以下のような発言があった。  
ぜひ、必要な予算は確保して欲しい。

委員から以下のような発言があった。  
いいプランを作るためにはインフォーマルな機会を設けて、フランクに意見を交換する必要があるかもしれない。事務局まかせにしないように頑張りたい。

委員から以下のような発言があった。  
委員の方にはボランティア精神を発揮していただいて集まっていただくこともあるかもしれない。

委員から以下のような発言があった。  
社会教育委員会議で平成13年度、平成14年度の2年間をかけて、作成した学社融合についての提言をみなさんにごらん頂きたい。

委員から以下のような発言があった。  
いいものを作るためには、回数を増やすことも必要ではあるが、時間のとれる人だけが出席して、とれない人が抜けていくという事態は避けなくてはいけないので、不用意に回数を増やすことのないように、事務局には努力していただきたい。

総務部企画課企画課長から以下のような発言があった。

社会教育委員会議の報告書については、各委員に送付する。回数については部会長等とよく相談させていただきたい。第2回策定委員会について、7月に予定させていただきたい。今日の結果については、議事録等にまとめ、部会の持ち方等に反映させていく。

## 9 閉会